

自然と暮らし、自然に学ぶ、豊かな暮らしを考える情報誌

ご自由にご覧
TAKE FREE

#25
2017.12
Winter Issue

[宮城版]

来たる新年、
ワン!だふるな
一年に。

ふんわり

日本の森バイオマスネットワーク

支部紹介

くりこま高原自然学校

工房はひふへほ 「小枝で作るS字フック」



ふんわりズム、 ふんわりスト。 ism + ist

あわーしんぐ やまとくらしのどうぐてん

ourthing 山と暮らしの道具店

蘇武和祥さん・優子さん

Kazuyoshi Sobu, Yuko Sobu



もちろん道具好き。登山やキャンプをふたりで、仲間で、楽しんでいきます。「山でも美味しいご飯を食べてほしい」という思いから生まれた「Rice for Hiker」は、蘇武家のお米100%のオリジナル商品です。お米としては珍しい小さなサイズと、すっきりしたデザインが好評だそうです。栗駒山の帰りに立ち寄る方ももちろん、地域の方たちからも「こんなお店が地元にはなかった」と喜ばれています。これからは、栗駒ならではの商品を作ったり、イベントやワークショップなどを展開したり、地域から発信していきたいそうです。

いい道具は、いい時間を過ごすための特別な存在。見ているだけでワクワクしたり、癒されたり。ふたりが好きなもの、好きなことを、そのまんまひとつの箱に詰め込んだような空間です。道具たちも、心地よさそうにひなたぼっこしながら、ふたりと一緒の時間を過ごしています。



ロゴマーク入り、オリジナルシェラカップ。栗駒山の稜線は和祥さんの発案。駒姿（馬のシルエット）をいれるという優子さんのアイデアが加わり決まったそう。

data & information

宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町114-2F

営業時間 11:00~18:00

TEL&FAX 0228-24-8305

ourthing@yamatokurashi.com

http://yamatokurashi.com/

定休日:水曜、第2・第4木曜(農繁期は不定休)



左▲瓶詰め国産蜂蜜とスモークミックスナッツ。右▲Rice for Hiker: Solo (0.5合) と Duo (1合) の2サイズ。蘇武さんの田んぼで穫れた新米をコンパクトにパックしたオリジナル商品。



栗駒山のふもと、昔ながらの商店街に仲間入りした、アウトドア用品と雑貨のお店。店主の蘇武和祥さんは栗原市出身、実家は6代続くお米農家でもあります。オープン直後の紅葉シーズンは、ちょうど稲刈りと重なり、お米作りも繁忙期。和祥さんは朝から稲刈りができるだけ進めて、優子さんが開店準備を整え、田んぼの作業が終わってからお店に駆け付けける日々をこなしたそうです。お店に並ぶのは、機能性を重視した実用的なアウトドアギアと、素材の良さや作り手さんの雰囲気や伝わる雑貨たち。商品を扱うというよりも、「自分が好きで、これいいですよ、とおすすめするような気持ちで選んでいます」と語る和祥さん。ご自身もアウトドアが好きで、もちろん道具好き。登山やキャンプをふたりで、仲間で、楽しんでいきます。

おすすめ商品、教えて下さい。

登山に最適。プレゼントにも喜ばれそう。

PLAY LOCAL, EAT LOCAL, BUY LOCAL!

f-ist
25
F-present
応募券

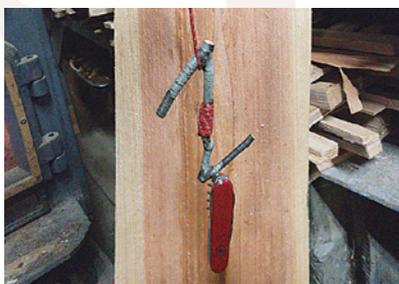
シェラカップと「Rice for Hiker」(ソロとデュオ1つづつ)のセットをプレゼント応募券を貼り、編集部まで応募ください(抽選で1名様) 締切 2018.2月



02	ふんわりズム、ふんわりスト。 ourthing 山と暮らしの道具店 蘇武和祥さん・優子さん
04	日本の森バイオマスネットワーク 日本の森バイオマスネットワーク支部紹介
05	しんりん 眠れる森への招待状 森を守る森林イノベーション
06	手のひらに太陽の家 自然が持つエネルギーと人の手のぬくもりを伝えたい
06	ふんわりレビュー コトノネ
07	サスティナライフ 森の家 土壁でつくるツリーハウス
08	くりこまくんえん お店、始めました。／スタッフ紹介
09	くりこま高原自然学校 工房はひふへほ 小枝で作るS字フック
09	すがっちコラム
10	イベントカレンダー
12	わたしたちのこと



07 05



イグルーの中でキャンドルを灯して。寒いからこそ味わえる、冬のぜいたく。(撮影場所：くりこま高原自然学校)



Cover Photo

この印刷物は地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインキを使用しています。



ふんわりではホチキスを使用していません。リサイクルするときのことを考えて、このような形でお届けします。ちょっと不便だけどちょっとやさしい。どうかご理解ください。

09

編集長 ぼすとすくりふと

宮城に暮らして15年目の冬を迎えます。東北は四季をはっきりしていると感じてますが、私の暮らす栗駒山は、一月ごとに自然や気候が違います。

同じ冬でも、12月から3月は様子が違うんです。厳しい冬もふんわりとやり過ごせるくらい余裕をもって暮らしたいですね。

No staples.
ホチキスを
使わずに。

23号より全国で活躍する各支部の活動を北から順にご紹介しています。
森と暮らしをつなげ、山も人も地域も元気になる持続可能な社会の実現を目指す、全国各地、各支部の活動にぜひご参加下さい。

宮 城支部では森林資源の活用を進め、自然と共に生ずる、持続可能な地域社会実現のため、次の各活動に取り組んできました。



手のひらに太陽の家

薪や木質ペレット燃料など、森林エネルギー利用の推進

ペレットストーブの導入協力や設置支援、および各種イベント等、普及啓発活動。

国産材を使った建築や家具、木工製品の利用拡大推進

特定非営利活動法人「賀露おやじの会」及び「組手什おかげまわし協議会」からのご協力による「組手什（くでじゅう）」製造。

「手のひらに太陽の家」運営協力

プロジェクト立ち上げから一連の活動に携わり支援、協力。

森林の価値や魅力を広く呼びかけるため、森林をテーマとした環境教育活動の実施。

環境教育講座やフォーラムなどの開催、協力。

主には毎年開催の「植林活動 山への恩返し・春inエコラの森」、「田中優さん皮むき間伐ツアー」の実施協力。

2011年、前身の任意団体「みやぎの森バイオマスネットワーク」から「日本の森バイオマスネットワーク」へと名称変更、その直後に発生した東日本大震災。被災地の中に入りながら、津波被害の沿岸部へのペレットストーブ設置支援とあわせて物資の配布支援活動を行いました。たくさんの方のご支援、ご協力にあたたかみを感じ申し上げます。

その設立からこれまで、本部活動及び運営を支えてまいりました。現在、被災地は復興には程遠い状態に思いますが、ここで今一度、原点に立ち返りミッションである「森林資源の活用促進による持続可能な地域社会の実現」の為、活動を行ってまいります。





眠れる森への 招待状

馬が山の斜面から集めた丸太。前号で、道
いっぱいに溜まっていたね。その先は、
山で働く専門の機械「やまびこ」の登場です！
しんりんでは親しみを込めて「やまびこくん」
と呼んでいます。

やまびこくんは、荷台とウインチ（ワイ
ヤー）が搭載され、丸太を引っ張り上げて積
み込むことができる機械です。馬が集めた丸
太を「中間土場」と呼ばれる、山の途中に作
られた材木置き場まで運び降ろします。小型
なので一度に運べる量やスピードに限りがあ
りますが、大規模な作業道は不要、森を傷め
ず木を運ぶことができます。重さも軽く、道
幅ギリギリまで寄ることができ、小回りが利
くことで、道自体が傷みにくいメリットもあ
ります。道が傷めば車が入れずお手入れでき



馬との関係プレー



こんな大きな丸太も！

ない山になってしましますし、修復にはそれなりの費
用がかかります。作業道は山に走る血管のようなもの。
100年、200年、ずっと先の未来まで：コツコツ
とお手入れをしてゆく為にも、美しく保ちたいですよ
ね。
そしてここからはちょっとマニアックなお話。やま
びこくんにはリモコン付きとリモコン無しタイプがあ
るのですが、しんりんの親方の拘りは、断然リモコン
付き。リモコンで単独作業が可能に。それからもうひ
とつ、ウインチの逆回転が「磁力」でなく「動力」で
あること。重さの影響を受けず安全な積み下ろしが可
能になります。仕事の効率と安全性の向上。ウン十万
のお値段の差だけのことはあるそうですよ！

手のひらに 太陽の家

tenohira-press | 通信 |

自然が持つエネルギーと
人の手のぬくもりを
伝えたい



日和スタイルさんによるリメイクWS
『はくセーター-momohiki workshop』(2017.11.1)



地場産の無垢材を組んで昔ながらの手法で建てられた手のひらに太陽の家で、自然が持つエネルギーと人の手のぬくもりを感じていただきながら寒い冬も皆で乗り切っていきたいものです。

玄関を開けると広いスペースが広がる「手のひらに太陽の家」。いつもはお年寄りから小さなお子さんまでゆったり過ごせる「みんなのカフェテテ」が営業しています。冒険心がうずいてきそうな2階は、ワークショップ、講習会、映画上映会などさまざまなイベントにもご利用いただいています。小部屋やホールの部分から全館レンタル、プロジェクト、BBQセットなど機材の貸出しも行っています。みんなのカフェテテでは「手作り結婚式企画」もはじまりました。

寒さが徐々に厳しくなってきました。こんな日は、人と会いたくなる。人が集まれば暖かくなる。

手のひらに太陽の家 TEL 0220-23-9755

一般社団法人くろこま高原自然学校

TEL&FAX 0228-46-2626 / E-mail kouei@kurikomans.com

facebook 手のひらに太陽の家プロジェクト

検索



mont-bell



手のひらに太陽の家では研修宿泊、ワークショップ、イベント時のレンタルスペースの利用など、ご希望にあわせてご相談に応じます。ぜひ一度お気軽にお問い合わせ下さい！

FunwaReview

編集部員の本棚より



社会をたのしくする障害者メディア コトノネ

春、夏、秋、冬、年4回送られてくる情報誌「コトノネ」。ページをめくると、キラキラ輝く人の顔が目飛び込んできます。生きることをめいっぱい楽しんでいるからなのか……。

人は誰でもが大人り小なりなんらかの「生きづらさ」を抱えて生きているものですが、「コトノネ」では、それを受け止めつつ人と人、人と物、人と場、人と社会の関係を紡いでいこうとする試みを紹介しています。障害者施設の観光ツアーなど、時にはドキリとしてしまうような取り組みも紹介されていますが、同時に先入観にとらわれている自分に気付かされることもあります。誰かのためではなく、自分を開くために読みたい情報誌です。

手のひらに太陽の家
河崎 清美

販売店、購読方法については、ホームページの情報を御覧ください。

「コトノネ」HP
<http://kotonone.jp/>

土壁でつくる ツリーハウス

～ワークショップを
開催しました～



サスティナライフ長年の懸案だったツリーハウスづくり。本番の土壁塗りに向けて下準備（ふんわり24号にて紹介）を進めていましたが、天候不順による二度の延期を乗り越えて、先日ワークショップが無事開催されました。

満を持しての土塗りが開始。約3ヶ月間発酵させた土を泥だんご状につかみ取り、下地の竹小舞（たけこまい）にぶつけます。ぶつけた土は竹小舞に合わせて厚みをつけ、表面が平らになるよう手でならします。

プロ顔負けの仕事ぶり

参加されたあるお子さんは小さな体いっばいに手を伸ばし、一心不乱に大人と変わらない面積の壁をつくっていました。時には壁の裏側にまわり土の付き具合を確認するなど、プロ顔負けの仕事ぶり。当日監修していた左官屋さんも「教える前にあそこまで気にしてくれると嬉しくなるよね!」と目を細めて感心していました。

土と水とワラでつくった土壁

当日のワークショップでは土壁塗りの他に、下準備で行っていた竹割りりや、小舞掻き（※1）もあらためて実施。当日は土壁づくりのひと通りの作業を体験していただきました。後日、杉皮葺きの屋根も完成、年明けに内部を仕上げようやく完成です。四季を通して室内の温度や湿度を最適に保ってくれる土壁。土とワラと水だけでつくる土壁の不思議な力を、たくさんの方に体感していただきたいものです。S

※1

小舞掻き（こまいかき）

細く切った竹を格子状に組み、藁ナワで編み込む下地づくり



自然をつなげる
持続可能で豊かな暮らし

サスティナライフ森の家

くりこまくんえんが、お店を始めました。



場所
宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町51-1
(渡辺整形外科内科医院様 向かい)

毎週土曜日のみ開店
(その他曜日でもご予約頂ければ大丈夫です)

栗原市栗駒岩ヶ崎で木工品の販売を始めました！
くりこまくんえんで製作した木工品を始め、県内各所で作った品を取り扱っております。ご自宅用・ご贈答用にもオススメです。
DIYするのに木材が欲しい！そんな方も大歓迎です。
また、ベレットストーブの展示も行っており、国内品・海外品を展示しております。実演も行っておりますので、実際に温まってベレットストーブの良さを実感してみてください。
このお店の近くに新しいお店が続々オープンしています。カフェだったり、ジーンズショップ等、是非栗駒へ遊びに来てみてください！📍

スタッフ紹介



熊谷 拓人
(製材グループ)

今年入社1年生
これからの成長が楽しみです(^^)

KURIMOKU

栗駒木材

株式会社くりこまくんえん

〒989-5401 宮城県栗原市鶯沢袋島巡44-7

☎0228-55-3261 info@kurimoku.com

<http://www.kurimoku.com/>

※リニューアル中Facebookにリンクしています。

工房 koubou

はの火歩平穂

つちやんが見たり、聞いたり、教わってきた、暮らしに使えるクラフトをご紹介します。



夜が長くなったら暮らしの道具を手作りしてみよう。K



塚原俊也

くりこま高原自然学校のアクティビティ担当。運営から指導まで八面六臂の大活躍。静かに燃える意志は炭火のように強くて温かい。



小枝で作るS字フック



1 二股の小枝を用意する



2 合わせの部分のバランスを見る



3 枝を半分ずつ削って合わせる



4



5



6 合わせた部分をロープで固定する



7 アメリカンホイッピングという結び方



8



9 余ったロープの端を切り、ライターで焼いて処理して完成。

雪の季節を迎えました。私たちの住む集落は、これから4月までの半年ほどを、風雪とともに過ごします。4歳、2歳、0歳の元気な男子3人と、たっさんの冬の情景を味わうのです。凜とする朝の寒さ、真っ赤に照らす朝焼け、家が揺れるほどの北風。濡れた手袋の気持ち悪さ、新雪をつぼ足で歩くしんどさ、寒暖差で曇るメガネ。大きい荷物や敷地の中をソリで移動。"しゃっくく"なって縮こまる子どもたちの手足、雪の中を駆けまわる小さい体。踏み固めた雪の上をひたひた歩く毛糸の帽子。薪ストーブにあたり



栗駒山暮らし×子育て 日記のような、手紙のような ふんわりコラム

で火照る頬、あたたかいご飯の湯気、冷えた体に沁みる紅茶。ガチガチに凍りついたサツシ、窓ガラスには雪の結晶。2階のテラスに届く雪の山、ドアを開ければフリーゲレンデ、雪かきで有酸素運動。そのあとの筋肉痛。冷え切った夜に広がるめいっばいの星、ストーブの上で沸くヤカン、雪の中で冷やしたビール（私はノンアルコールだけれど）。

ちょっとしたことで、冬の山ではトラフルのもと。子どもを背負って、雪の中を行ったり来たりして、泣きそうになる日もあります。春が来るころには、またいちだんと、子どもも私もたくましくなっているでしょう。寒いからこそ、ちょっと不便だからこそ、自分たちで心地よい暮らしを創ることができま。冬こそ、栗駒山！



SUGACCHI COLUMN

すがっちくりこま高原自然学校のスタッフで3児の子育て中。天性のホスピタリティで来る人々をもてなし続けています。栗駒山にお越しの際は、自然学校にも、いらっしやい！



寒太郎が、
やつてきた。



Cafe tetote ワイン会

1/27(土)

ワインを飲み比べながら、店主こだわりの料理をお楽しみいただけます。ワインの選び方、相性の良い料理など、ワインがもっと身近に感じられる秘訣をお伝えします。



手のひらオープンディ mini

1月1回開催(開催日はFacebook等で)

手のひらに太陽の家にて、ワークショップや手作り品の販売・展示・コンサートなど、地域のみなさんとの交流のためのイベントです。



くりこま高原自然学校 冬季常設プログラム

☑

スノーシュートレッキング、ネイチャースキー、石窯クッキングなど。ログハウスの宿泊も受付中!冬の森をガイドいたします。

ふんわりグッズ
プレゼント present!

1
くりこま高原自然学校
オリジナル手ぬぐい
【1組様】☑



4
巻末の応募券とともに希望の番号を書いてご応募ください。その際以下の項目もお書き添えてください。
【①よかった記事 ②つまらなかった記事 ③プレゼント応募の理由 ④プレゼントの使い道 ⑤ふんわりを手に入れた場所】

2
森林木香 きこり著
【3組様】☑



3
ふんわりと同じ
森林認証紙で作った
10x10x10cmメモ
【3名様】



わたしたちのこと。

ふんわりをキーワードに集まった私たち。
業種もフィールドも違うけど、ユニークでオンリー
ワンで、おもしろいことができそうです。

くりこま高原自然学校

☎ 0228-46-2626

宮城県栗原市栗駒沼倉耕家 57-1

http://kurikomans.com/

栗駒山麓をフィールドに、栗駒山、ブナの森、
世界谷地湿原など大自然をご案内します。



日本の森バイオマスネットワーク

office@jfbn.org

宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7-2階

http://jfbn.org/

森と暮らし、山も人も元気になる持続可能な社
会を目指し、森林資源普及に取り組んでいます。



手のひらに太陽の家

☎ 0220-23-9755

宮城県登米市登米町寺池辺山 17 番地 1

http://taiyounoie.org/

東日本大震災で被災した子どもたちを受け入れ
ている復興共生住宅。環境教育、企業研修、
レンタルスペースなど多面的に事業を展開中。



栗駒木材

☎ 0228-55-3261

宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7

http://www.kurimoku.com/

伐採・製材・チップ・ペレットと一貫した事業
を行っている、材木屋です。お客様が安心して
暮らせる木材を提供しています。



NPO法人 しんりん

☎ 0229-25-4668

宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70 番地
エコラの森内

http://shinrin.org/

森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な
森づくりとこきりの育成を実行中。



サスティナライフ 森の家

☎ 022-725-2775

宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13

http://www.sustainablelife.co.jp/

地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ、
「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。



記事執筆・お問合せ…記事最後のアルファベットをご参照ください。

日本の森バイオマスネットワーク

くりこま高原自然学校

NPO法人 しんりん

サスティナライフ森の家

手のひらに太陽の家

栗駒木材

ふんわりに広告を載せてみませんか。

詳しくは編集部までお問合せください。

ふんわり 第25号

[宮城版]

[2017年12月10日] 季刊(年4回発行)

ふんわり編集部

〒981-3225

宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13

☎022-725-2775

funwarinfo@gmail.com

twitter funwari_miyagi

freefunwari

Funwari report
アンワリレポート!

ライ麦くるみレーズン

店 のロゴにもなっているいとう屋の原点ともいえるパン。実直なパンづくりをされる旦那さんといつも笑顔の奥さんによる二人三脚で完成したお店は今年でオープン10周年、県内外からはるばる訪れる方も多いそう。ライ麦を40%使った香り豊かなこのパン、くるみの油分とレーズンの味わいが絶妙にマッチ。干しぶどうは苦手という方の中にもこのパンのファンが多いというにも納得。

いとう屋
岩手県一関市藤沢町藤沢字町裏34-3
TEL 0191-63-5588 日・祝日定休 営業時間 10:00～夕方

宮城版 5,000部

印刷：コンカツ印刷

岩手県一関市中央町1丁目7-16 ☎0191-48-5963

京線での取り扱いはご希望のプレゼ
ンテーションをさせていただきます。
2018年2月28日まで有効
応募券